

2025 年 6 月 1 日

工学部 長田・長谷研究室のカサ・デ・ヴィドロの模型制作が 『新建築 2025 年 6 月号』に掲載されました

【概要】

奈良女子大学工学部・長田・長谷研究室が製作した建築模型「カサ・デ・ヴィド（Casa de Vidro）」が、建築専門誌『新建築 2025 年 6 月号』（特集：リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s-1970s）に掲載されました。

本模型は、2025 年 3 月から 6 月にかけて国立新美術館で開催された同展覧会において、ブラジルの建築家リナ・ボ・バルディによる住宅建築の一つである《カサ・デ・ヴィド（1950）》を、1/30 スケール・原寸図面準拠で精緻に再現したものです。



【内容】

この模型制作は、奈良女子大学工学部の坂下加代子（非常勤講師）が主導し、学生とともに取り組んだ教育的実践の一環として進められました。模型は約 3 ヶ月間にわたる設計・製作プロセスを経て完成し、展示台を含めた全体寸法は約 1,020×720mm、高さ 200mm となっています。

建物の構造、断面の抜け、床下のピロティ構成、水平連続窓、吹き抜けを貫く階段など、リナ・ボ・バルディ建築の空間的特徴を忠実に再現し、会場内でもひととき注目を集める展示となりました。

誌面では、展覧会の全体構成とともに、模型の展示風景やディテール写真が掲載され、現代に再考される住宅実験の一例として紹介されています。

【掲載情報】

雑誌名： 新建築 2025 年 6 月号
特集： リビング・モダニティ | 住まいの実験 1920s-1970s
掲載ページ： P.18～21（模型紹介は P.20）
発行元： 新建築社（2025 年 6 月 1 日発行）

【担当学生】

岩垣美和、上村藍、奥田葵衣、奥田そら、櫻井茉莉、立石桜、深澤真由子、最上和々、山下さと、山本らな

【展覧会情報】

リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s-1970s
会期：2025 年 3 月 19 日（水）-6 月 30 日（月）
会場：国立新美術館 企画展示室 1E/2E（東京・六本木）
主催：国立新美術館、東京新聞、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

【本件に関するお問い合わせ】

奈良女子大学工学部
長田長谷研究室 長田直之
E-mail：nagata@cc.nara-wu.ac.jp

（機関窓口）

奈良女子大学 総務課 広報・基金係
TEL 0742-20-3220
Email：somu02@jimu.nara-wu.ac.jp